

シラバス参照



科目名	プログラミング入門
科目名(英字)	Introduction to Programming
ナンバリング	1ECB10
年次	1年次
単位数	2
期間	前期
担当者	中西 知嘉子(ナカニシ チカコ)

授業のねらい・概要	<p>情報を専門に学ぶ学生諸君には、プログラミング能力が必須である。入学前にプログラミングを経験した学生は多くないので、本科目ではプログラミングの初歩からはじめる。</p> <p>本科目は次の3つで構成している。 (1)ソフトウェア関連の基礎知識 (2)日本語プログラミング言語等を用いる初等プログラミング (3)C言語プログラミング環境の基礎と「C演習I」への橋渡し</p> <p>後期の「C演習I」へスムーズに繋がられるように内容を配慮している。</p>		
CSコース			
スパイラル型教育			
授業計画	テーマ	内容・方法等	予習／復習
	第1回	コンピュータと情報システム コンピュータがソフトウェアによって様々な役割を果たすこと、および情報システムの中心であることを学ぶ。	
	第2回	日本語プログラミング (1)逐次処理	
	第3回	日本語プログラミング (2)条件分岐	
	第4回	日本語プログラミング (3)繰り返し処理	
	第5回	日本語プログラミング (4)実数の扱い	
	第6回	日本語プログラミング (5)総合演習	
	第7回	プログラミング環境の基礎 C言語プログラム作成環境の基礎	
	第8回	プログラミング環境の基礎 C言語プログラムのコンパイル・実行の操作	
	第9回	C言語の基礎 (1)逐次処理	

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第10回</td> <td>C言語の基礎</td> <td>(2)条件分岐</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>C言語の基礎</td> <td>(3)繰り返し処理</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>C言語の基礎</td> <td>(4)総合演習1</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>C言語の基礎</td> <td>(5)総合演習2</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>C言語の基礎</td> <td>これまでに学んだことをまとめて身に付ける</td> </tr> </tbody> </table>	第10回	C言語の基礎	(2)条件分岐	第11回	C言語の基礎	(3)繰り返し処理	第12回	C言語の基礎	(4)総合演習1	第13回	C言語の基礎	(5)総合演習2	第14回	C言語の基礎	これまでに学んだことをまとめて身に付ける
第10回	C言語の基礎	(2)条件分岐														
第11回	C言語の基礎	(3)繰り返し処理														
第12回	C言語の基礎	(4)総合演習1														
第13回	C言語の基礎	(5)総合演習2														
第14回	C言語の基礎	これまでに学んだことをまとめて身に付ける														
到達目標	<p>(a) 条件分岐や繰り返しを使用したプログラムを作成することができる。</p> <p>(b) ソースプログラムを入力、コンパイル、実行できる。</p> <p>(c) 条件分岐や繰り返しを使用して、C言語のプログラムを作成することができる。</p> <p>(d) 条件分岐や繰り返しを組み合わせた応用プログラムをC言語で作成し、プログラミング環境での操作によりソースプログラムを入力、コンパイル、実行できる。</p>															
評価方法	到達目標(a)～(d)の全項目を、授業中に実施するテストで評価する。(定期試験はしない)															
成績評価基準	<p>A: 到達目標の(a)と(b)を達成し、さらに、すべての到達目標を総合的に90%以上達成している。</p> <p>B: 到達目標の(a)と(b)を達成し、さらに、すべての到達目標を総合的に80%～89%達成している。</p> <p>C: 到達目標の(a)と(b)を達成し、さらに、すべての到達目標を総合的に70%～79%達成している。</p> <p>D: 到達目標の(a)と(b)を達成し、さらに、すべての到達目標を総合的に60%～69%達成している。</p> <p>F: 上記以外。</p>															
教科書																
参考書																
受講心得	<p>1) プログラミングは欠席するとついて来られなくなるので、全回出席するように心掛けること。</p> <p>2) プログラミング演習では宿題の課題を出すので、自習室、持参したノートPC、自宅のPC等を活用して学習すること。</p> <p>3) 授業時間中に筆記テスト、実技テストを実施するので、連絡された試験範囲を復習してのぞむこと。</p> <p>4) 本科目は「C演習I」の準備を目的の一つとしているため、「C演習I」を合格できた本講義不合格の学生は他科目の履修を優先することを推奨する。</p> <p>尚、筆記テスト、実技テストの結果は各人に知らせるので、理解の到達度について確認し、結果が思わしくない部分については再度復習しながら理解を深めること。</p>															
オフィスアワー	<p>布村 泰浩(ヌムラ ヤスヒロ) 木曜日5限 507研究室</p> <p>中西 知嘉子(ナカニシ チカコ) 火曜日3限 503研究室</p>															
実践的教育																

